



“つながり”を キーワードに

基調講演

つながりの力で元気を取り戻す～『社会的処方』と文化芸術

講師：西 智弘

(川崎市立井田病院 腫瘍内科／緩和ケア内科 医長、一般社団法人プラスケア 代表理事)

事例共有

『こまちカフェ』でのつながりの現在と、
そこから見る公立文化施設の役割について

講師：森 祐美子

(認定特定非営利活動法人こまちぷらす 理事長)

パネルディスカッション

ポストコロナ時代に区民文化センターが果たす役割とは？

モデレーター：小川 智紀 (認定NPO法人STスポット横浜 理事長)

パネリスト：西 智弘

森 祐美子

鬼木 和浩 (横浜市文化観光局文化振興課長 (主任調査員))

※出演者・内容は予告なく変更になる場合がございます。

2022 年

2月5日(土) 14:00～15:40

※30分前より受付開始。終了時間は予定です。

会場：戸塚区民文化センター さくらプラザ・リハーサル室

定員：20名 (先着予約順) 参加料：無料

※事前質問、アーカイブ配信のご案内はチラシ裏面をご覧ください。

お問合せ・予約

戸塚区民文化センターさくらプラザ ☎ 045-866-2501 (9:00～21:00)

2021年12月12日(日)14:00～先行電話予約開始 / 翌日9:00より窓口予約受付開始

休館日：原則第2火曜日・12月29日(水)～2022年1月3日(月) / 17時閉館日：12月28日(火)

※今後の感染症の状況によりチラシ記載の内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



新型コロナウイルスは業種を問わず甚大な影響をもたらした。“会場に来てもらうことができない”という現実、これまで公共ホールが担ってきた鑑賞施設という役割を見つめなおす転換期となったのではないか。今回のシンポジウムでは、市民の生活拠点になっている地域コミュニティの事例を参考にしながら、文化芸術の持つ人と人とを“つなげる”力に注目する。つながることが難しくなったこの時代に、区民文化センターに何ができるかを考えたい。



にし ともひろ

西 智弘 (川崎市立井田病院 腫瘍内科/緩和ケア内科 医長、一般社団法人プラスケア 代表理事)

2005年北海道大学卒。室蘭日鋼記念病院で家庭医療を中心に初期研修後、2007年から川崎市立井田病院で総合内科/緩和ケアを研修。その後2009年から栃木県立がんセンターにて腫瘍内科を研修。2012年から現職。現在は抗がん剤治療を中心に、緩和ケアチームや在宅診療にも関わる。また一方で、一般社団法人プラスケアを2017年に立ち上げ代表理事に就任。「暮らしの保健室」「社会的処方研究所」の運営を中心に、地域での活動に取り組む。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。著書に『だから、もう眠らせてほしい (晶文社)』『社会的処方 (学芸出版社)』などがある。



もり ゆみこ

森 祐美子 (認定特定非営利活動法人こまちぶらす 理事長)

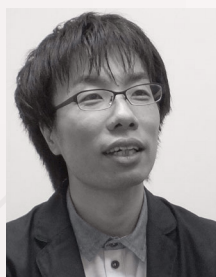
大学時代に小出郷文化会館と新潟県魚沼市の人々に惚れこみ、3年間公共文化施設とその評価について研究。この会館とまちの魅力伝えたいと任意団体を立ち上げ約100人の若者を連れていく。2004年トヨタ自動車株式会社に入社。第一子出産直後に感じた育児における孤独感やその後救われた経験から、2012年に退社し当時のママ友数人と当団体を立ち上げる。現在200人のボランティアメンバーに支えられながら、50人のスタッフと「こまちカフェ」やウェルカムベビープロジェクト等企業との協働プロジェクト等運営する。2019年米フィッシュファミリー財団チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞にて入賞、約80会員いる地元商店会の副会長を5期つとめる。中1と中3の2児の母。



おにき かずひろ

鬼木 和浩 (横浜市文化観光局文化振興課長 (主任調査員))

1988年横浜市に入庁し港北区の文化振興を担当。その後、福祉、税務などの部署を経験した後、2004年4月から文化芸術都市創造事業本部文化政策課に配属。「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」設立、指定管理者選定、文化施設整備等を担当。2009年4月から横浜市役所初の文化芸術の専門職員に就任。2021年4月から現職。日本文化政策学会監事。共著に『文化政策の現在第1巻 文化政策の思想 (東京大学出版会)』。



おがわ ともりの

小川 智紀 (認定NPO法人STスポット横浜 理事長)

1999年より芸術普及活動の企画制作に携わる。2004年、STスポット横浜の地域連携事業立ち上げに参画し、2014年より理事長。横浜市芸術文化教育プラットフォーム、横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト、障害者芸術文化活動普及支援事業全国連携事務局、神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターの各事業を担当。そのほか自治体の文化計画策定や、民間企業の社会貢献活動プログラム策定支援にも関わる。NPO法人アートNPOリンク事務局長。NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク理事。NPO法人子どもと文化全国フォーラム理事。愛知大学文学部非常勤講師。

事前質問

本シンポジウムでは、事前質問を受付けいたします。ご希望される方は以下の方法でお送りください。パネルディスカッション後に質問を紹介させていただきます。全てのご質問を紹介できない場合がございますので、予めご了承ください。

【受付期間】

2021年12月12日(日)14:00～2022年1月29日(土)21:00

①受付フォーム: <https://bit.ly/3ozXvHJ>

さくらプラザHPより、もしくはお手持ちのスマートフォンで右記のQRコードを読み取り、必要事項を送信ください。

②メール: event@totsuka.hall-info.jp

「お名前」「所属」「質問先」「質問内容」をご記入いただき上記のメールアドレス宛にお送りください。



事前質問
受付ページへ

アーカイブ配信

本シンポジウムの模様は、さくらプラザYouTubeチャンネルにてアーカイブ配信をいたします。

【公開期間】

2022年3月1日(火)10:00～3月31日(木)21:00

【さくらプラザYouTubeチャンネル】<https://bit.ly/3jRa1A0>

※公開期間は予告なく変更になる場合がございます。

※このシンポジウムでは、映像収録及び写真撮影用のカメラで後方より撮影いたします。その際にご来場のお客様の様子が映り込む場合がございます。収録されたデータは後日アーカイブ配信に使用いたしますので、予めご了承ください。



さくらプラザ
YouTube
チャンネルへ

※QRコードは(株)デンソーウェブの商標登録です。

戸塚区民文化センター さくらプラザ



新型コロナウイルスに関する感染対策とお願い

感染症対策などの詳細はHPから

<https://totsuka.hall-info.jp>

さくらプラザ 検索

※通信料が発生します

TEL:045-866-2501 / FAX:045-866-2502

Mail: event@totsuka.hall-info.jp

HP: <https://totsuka.hall-info.jp>

〒244-0003

横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎4F

●JR・横浜市営地下鉄「戸塚」駅西口 徒歩2分

●駐車場 (有料)

※駐車台数に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。

主催: 戸塚区民文化センターさくらプラザ (指定管理者 アートプレックス戸塚株式会社/運営企業 株式会社 共立) 制作: 小野良、松田晃子

